

# 機械入力による文字型データ・ベースの作成\*

…… Das Kapital Database ……

『資本論第4版第I巻第I章第I節データ・ベース』

勝田 政 広\*\*

Masahiro Katsuta

I. 目 的

II. 方 法

III. 結

## I. 目 的

近年、データ・ベースに対する関心がたかまっている。情報のあふれている社会において、必要とするデータを的確に且つ迅速にとりだすことは、情報量の飛躍的な増大とともに難しくなりつつあるからである。その一方で、その作業は以前では大型コンピューターに頼らざるをえなかったのが、近年、電話回線を介した端末機もしくはマイクロコンピューターで個人的に使用可能となってきたからである。増大しつつあるデータを整理し、すばやく的確に利用するには、大量のデータをデータ・ベース化するひつようがある。ところがこのところのハードウェアとソフトウェアの進歩はそのことを個人レベルでも可能としているのである。それらがデータ・ベースに対する関心のたかまりのゆえんであろう。

データ・ベースはまず資料の検索を目的として構築されはじめた。事実、運用されているデータ・ベースはほとんどがその類のデータ・ベースである。つまり、必要とするデータを検索し且つそれがどこに所在するのかを敏速に的確に検索することを目的として作成されているのである。データ・ベースの性格にもよるが、単に数値データを検索するのであればそれで十分であろうが、こと文献データ・ベースまたは文字型データ・ベースとなるとそれだけでは不十分であろう。なぜならば、データ検索システム型データ・ベースでは必要とするデータの所在は検索可能であるが、抄録を別とすればその検索結果をもとに再度、原典をひもとく必要性があるからである。文献データ・ベースの場合、検索は文献にあらわれるすべてのデータ、文字型データすべてを検索するということが可能にしなければならぬ。そうでなければ、その検索システムは不十分なものとなろう。したがって文献データ・ベースは文献にあらわれるデータの所在だけでなく文献データそのものの検索を可能にするようなデータ・ベースでなくてはならないということになるのである。

筆者の過去に作成したデータ・ベース<sup>1)</sup>および今回作成したデータ・ベースはいずれも二次検索を必要としないことを目的としている。なぜ筆者の研究にとりデータ・ベースが必要なのかという点にかんしては前掲論文において詳述しているので再論はしないが、客観的

---

平成元年5月15日原稿受理

大阪産業大学 短期大学部

に文献を読み著者の意図をくみとるには文献をデータ・ベース化するのも一つの方法であろうと筆者は考えている。ことに文献考証的な色彩を帯びた研究には、術語及び術語の用法にかんして厳密な検討を要する研究には、ことに有効であろう。もちろん当該文献における術語の用法とか用語をたどるだけでは、著作者の思想をまたは意図を、理解したりくみとることはできないであろうが、より確実に把握するための補助的手段としては十分に有効であろう。

過去に作成したデータ・ベースは人的入力に依拠し且つ各国語には対応しうるものではなかった。今回作成のデータ・ベースの最大の特徴は表題に示されるごとく、光学文字読取り装置を用いた文字データの機械入力にある。また今回のそれはドイツ語文献データ・ベースでありドイツ文字に完全に対応しているという意味で英語以外の外国語に対応しうるという特色がある。必要とするデータをすべて一次検索で検索しうる文献データ・ベースの作成には文献すべてを入力する必要がある。それには人的入力にたよるかぎり人海戦術以外に方法はない。

しかしながら Intelligent Character Recognition の開発により、しかも入力にようする人件費に比べれば相対的に安価とおもわれる入力装置の開発により、それも可能となったのである。したがって本稿においては、機械入力による文字データをもとにしたデータ・ベースの作成及び問題点についてのべることにする。

## II. 方法

今回のデータ・ベースは前述のように機械入力に依拠すると同時にドイツ文字に対応することを最大の目的として作成した。筆者はマイクロコンピューターをもちいての文献インデックスの作成<sup>2)</sup>をはじめて以来、手作業による入力で文献データ・ベースの作成をすすめてきた。しかしながら、今回のデータ・ベースの対象は956頁よりなる文献であり、テキスト文としてよみとったテキストデータ量は2,788,352バイトにのぼり、手作業による入力にはあまりにも労働消耗的といわざるをえない。筆者は『資本論』全3巻(延べ2524頁)をとりあえずデータ・ベース化することを意図しているが、『経済学批判』と『経済学批判要綱』をふくめた3部作(延べ3558頁)のデータ・ベースの作成を最終的な目標としている。それには手作業による入力に依拠するかぎりテキスト文の入力だけでも多大な時間をさかねばならず、単独ではまず不可能な作業ということになろう。したがって、筆者はここ数年、機械入力の可能性をさぐってきたが文字認識率の低さ、読取りスピードの遅さ等でも問題が残った。

一方ドイツ文字への対応はハードウェア及びソフトウェアの変更で可能となった。以前のデータ・ベース作成時に使用していたマイクロコンピューター及びソフトウェアでは、ドイツ文字はただ外字登録により全角文字としてのみ使用可能であり、Ä, ä, Ö, ö, Ü, ü, ßは半角では使用できなかった。しかし今回使用したものは、ドイツ語も含め欧文はほとんど対応しうるものである。

機械入力のほうも幸い実用に耐えうる光学文字読取り装置<sup>3)</sup>を使用できる機会をえたことによりテキスト文の機械入力が可能となった。一般に光学文字読取り装置においては、文字間隔の不揃い、字体の混在、脚注のような小さな文字の混在が認識率の低さの原因となる。

ことにイタリックは文字どうり斜字体であるがゆえに、文字のパターン認識をおこなうだけでは認識率が極端に低くなる。文字パターンからの特徴を抽出するという特質をもった今回使用したシステムにおいてすら、イタリック文字の認識率はひどいという結果がでた。本格的に文字読取りをおこなうまえに各種の版の資本論で認識率を確認したが、平均すれば96.77-97.99%という認識率であった。例えば初版『資本論』<sup>4)</sup>S.21は2901バイトで構成されている頁であるが、認識ミスあるいは認識不能文字数は79バイトであり、認識率は97.28%であった。ちなみに認識ミスの字数79のうちイタリックは42バイトであった。また認識ミスの79のうちに含まれる脚注の認識ミス数15は脚注を拡大して認識さしさえすれば4程度に減少することが予想されることにより、認識率の向上が期待される。認識率の97.28%を高いと判断するか低いと判断するかであるが、筆者の経験からして高いと判断すべきであろう。また、認識ミスには脚注の字体のポイントの小ささとともに、ある種の傾向がみられることにより、編集段階において十分対応しうると判断した。したがって、データ・ベース作成にとって懸案であった、ドイツ文字への対応と文字データの機械入力が可能となったと判断し、『資本論』第Ⅰ巻956頁のテキスト文への読取りを行うこととし、さらにデータ・ベースをそれをもとに作成することとした。いか手順をしめすこととする。

#### ①原稿からテキスト形式ファイルの作成

原稿を光学読取り装置を介して文字読取りをおこない MS-DOS TEXT 形式のファイルとする。全956頁を原則として節単位でくぎり101ファイル、2788352バイトのテキストファイルとして読取る。ちなみに今回発表のデータ・ベースは18128バイトのファイルである。

#### ②テキスト形式ファイルの編集

- ・DOSをドイツ語キーボード対応のそれに変換する。
- ・英文ワードプロセッサにドイツ語 Speller と Thesaurus をくみこむ。
- ・読取った MS-DOS テキスト形式の文字型データの Spell Check をおこなう。認識ミスをみいだすだけでなく解読不能文字はここでチェックされることになる。
- ・辞書登録がすすむにつれスペルチェック機能はドイツ語特有の変化にも対応できるようになり、テキストファイルの校正が加速度的に早く行なえるようになる。
- ・エディターでダブルクォテーションをシングルクォテーションに変換し、同時に改行マークを表示させることによって改行位置をあきらかにする。
- ・『資本論』そのままのデータ・ベースを作成することを意図したがゆえに、行単位を1データとするような編集をおこなう。もちろん副次的にディスク容量を効率的に使用するようなデータ・ベースのテストをするためでもある。ただし原文においてしばしばみられるが、行末で単語をハイフオンで分割しているような場合、次行で表示されている部分は前行の末尾へ移動して1語とする。2頁にまたがっている語の場合も同じである。というのはデータ・ベースでの検索を完全なものとするためである。
- ・テキスト形式からデータ・ベースへの Conversion にさいし、一行ごとのテキストデータ長は可変であるがゆえに Delimited 形式で Convert をおこなう。したがってそれぞれの1行単位のテキスト文はダブルクォテーションマークで囲む必要があ

る。

ちなみに Delimitation Mark はカンマ「,」とする。

### ③データ・ベースの作成

- ・まず Satz (文) カラムのみよりなるデータ・ベースを作成する。
- ・Ascii delimited 形式によって編集したテキスト形式ファイルをデータ変換し、Satz フィールドへデータを転送する。
- ・データ・ベースの構造を [表3] <sup>5)</sup>のようにカラムを追加して変更する。
- ・Satz 以外のカラムのデータ入力を容易にするために、入力様式を作成する。
- ・入力様式をもちいて Satz 以外のカラムにデータ入力をする。
- ・プリントアウトするためのレポート様式を作成する。

以上の要領で作成したデータ・ベースを [表1] として本稿の末尾にプリントアウトしてしめすこととするが、データ・ベースは本来このようなかたちでしめされるべきものではなく大型コンピューターもしくはマイクロコンピューターで検索可能なソフトウェアとして発表すべき性質のものであるということをあらためて指摘しておくこととする。つぎに実際にデータ・ベースをもちいた検索例を [表2] としてしめすが、それは原データ51頁-54頁にもちいられている“Gebrauchswert”を検索した例である。

## 3. 結

今回の光学文字読取り装置をもちいたテキスト文の機械入力によるデータ・ベース作成は一応の筆者の目的を達したといえよう。というのは、人的入力に比して入力スピードは8-10倍であることが確認しえたからである。とはいえ入力スピードの一層の改良がまたれる。というのはスキニングスピードはそれほど問題にならず認識処理速度が問題だからである。1頁のスキニング・認識スピードが1.5-2分というのは改良される余地をのこしているようにおもわれる。今回用いた装置に登載されている処理チップはちかぢか4倍の能力をもつようになるのことであるがいずれにせよマイクロコンピューターの処理速度に比していまのところ認識スピードがまだ遅いようにおもわれる。とはいえ、以前のように人的入力にたよることを思うと今回ためした機械入力は格段にデータ・ベースを作成するには効率的であったといえよう。

今回の機械入力によるデータ・ベース作成はある意味でのテストケースとして位置付けられよう。というのはディスク容量を考えて、また原典に忠実にということを考えて行単位のデータをデータ・ベースのレコードの基本単位としたからである。ディスク容量という点では、『資本論』第I巻第I章第I節のテキスト文が18128バイトであるのにたいしデータ・ベースでは約4.4倍にふくれ上がる。もしI巻全体のデータ・ベースを作成するとなれば今回のデータ・ベースの様式でも約12.3メガバイトのデータ・ベースということになる。いっぽう著作者の思想を展開する最小単位としてのパラグラフを単位としてデータ・ベースを作成するほうが容量の点で問題はのこるものの、そのほうがよいのではないかともかんがえられる。行単位のデータ・ベースとするのか又はディスク容量は無視することとしてパラグラフ単位とするのかは、将来の課題として今回は決定をさけたくおもう。

いずれにせよ筆者の意図するところはただ単にデータ・ベース作成にあるのではなく、作

成されたデータ・ベースをもちいた研究の精微化にある。その意味で入力省力的な機械入力については一定の成果がえられたわけであり、機械入力による文献データ・ベースを作成しえたことになる。

(1989年5月14日)

## 注

\*本稿の作成にあたり神戸大学経済経営研究所片野彦二教授、定道宏教授、宮崎耕助手にお世話になりました。また、本学経済学部杉浦一平教授にお世話になりました。心より謝意を表します。もちろん本稿の全面的責任は筆者にあることはいまでもありません。

\*\*本学短期大学部助教

- 1) 「初版『資本論』データ・ベース——初版『資本論』序文及び第一章——」  
大阪産業大学産業研究所所報8号 1985年3月  
それ以降、初版『資本論』補遺、『現行版』第一章のデータ・ベースファイルを追加作成し、3つのファイルを結合して「商品論」データ・ベースとして現在使用している。
- 2) 「マイクロコンピューターによる『資本論』のインデックス作成について」  
大阪産業大学論集社会科学編58号 1984年10月
- 3) Kurzweil 社製 欧文用光学読取装置 DISCOVER7320 (Model20)  
上記のシステムの上位機種である K-4000ICR にかんする解説については以下を参照されたし。  
「欧文用光学文字読取装置 Kurzweil4000 システムについて」  
堀池博巳、四方敏明、小澤義明、星野聰  
京都大学大型計算機センター広報 Vol.21, No5 pp.305-315
- 4) Karl Marx, *Das Kapital*, Erster Band, MEGA, II-5, 1983, Dietz Verlag
- 5) カラムの説明
  - ①SerNr：シリアル番号のことである。データの先頭より順につける。
  - ②AufBd：版・巻をしめす。本データ・ベースにおける Kw-1 は Werk 版（全集版）*Das Kapital* Bd.1をしめす。ちなみに新 MEGA 版 Abt II-5（初版『資本論』）は m2-5 とする。
  - ③Abt：篇
  - ④Kapt：巻
  - ⑤Par：節
  - ⑥Seite：ページ
  - ⑦LNr：その頁における1行目からの行番号
  - ⑧Satz：当該行の文。

SerNr: 1	AufBd:kW-1	Abt:titl	Kapt:-0	Par:-0	Seite: 47	LNr: 1	Satz :Erstes Buch
SerNr: 2	AufBd:kW-1	Abt:titl	Kapt:-0	Par:-0	Seite: 47	LNr: 2	Satz :Der Produktionsprozess des Kapitals
SerNr: 3	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 1	Satz : Erster Abschnitt
SerNr: 4	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 2	Satz : Ware und Geld
SerNr: 5	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 3	Satz : ERSTES KAPITEL
SerNr: 6	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 4	Satz : Die Ware
SerNr: 7	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 5	Satz : 1. Die zwei Faktoren der Ware: Gebrauchswert
SerNr: 8	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 6	Satz : und Wert (Wertsubstanz, Wertgröße)
SerNr: 9	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 7	Satz : Der Reichtum der Gesellschaften, in welchen kapitalistische Produktionsweise
SerNr: 10	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 8	Satz : herrscht, erscheint als eine 'ungeheure Warensammlung', die
SerNr: 11	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 9	Satz : einzelne Ware als seine Elementarform. Unsere Untersuchung beginnt daher
SerNr: 12	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 10	Satz : mit der Analyse der Ware.
SerNr: 13	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 11	Satz : Die Ware ist zunächst ein kruserer Gegenstand, ein Ding, das durch
SerNr: 14	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 12	Satz : seine Eigenschaften menschliche Bedürfnisse irgendeiner Art befriedigt.
SerNr: 15	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 13	Satz : Die Natur dieser Bedürfnisse, ob sie z. B. dem Magen oder der Phantasie
SerNr: 16	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 14	Satz : entspringen, ändert nichts an der Sache 2. Es handelt sich hier auch nicht
SerNr: 17	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 15	Satz : darum, wie die Sache das menschliche Bedürfnis befriedigt, ob unmittelbar
SerNr: 18	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 16	Satz : als Lebensmittel, d. h. als Gegenstand des Genusses, oder auf einem Umweg,
SerNr: 19	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 17	Satz : als Produktionsmittel.
SerNr: 20	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 18	Satz : Jedes nützliche Ding, wie Eisen, Papier usw., ist unter doppeltem Gesichtspunkt
SerNr: 21	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 19	Satz : zu betrachten, nach Qualität und Quantität, jedes solches Ding"
SerNr: 22	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 20	Satz : ist ein Ganzes vieler Eigenschaften und kann daher nach verschiedenen
SerNr: 23	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 21	Satz : Seiten nützlich sein. Diese verschiedenen Seiten und daher die mannigfachen
SerNr: 24	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 22	Satz : 1 Karl Marx, 'Zur Kritik der Politischen Ökonomie', Berlin 1859, pag. 3. 1*
SerNr: 25	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 23	Satz : 2 Verlangen schließt Bedürfnis ein; es ist der Appetit des Geistes, und so natürlich
SerNr: 26	AufBd:kW-1	Abt:1	Kapt:1	Par:1	Seite: 49	LNr: 24	Satz : wie Hunger für den Körper die meisten (Dinge) haben ihren Wert daher, dass

SerNr:	27	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 49	LNr:25
Satz :	sie die Bedürfnisse des Geistes befriedigen.' (Nicholas Barbon, A Discourse on						
SerNr:	28	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 49	LNr:26
Satz :	coining the new money lighter. In answer to Mr.Locke's Considerations etc.',London						
SerNr:	29	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 49	LNr:27
Satz :	1696, p.2, 3.)						
SerNr:	30	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 49	LNr:28
Satz :	1* Siehe Band 13 unserer Ausgabe, S.15						
SerNr:	31	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr: 1
Satz :	Gebrauchsweisen der Dinge zu entdecken ist geschichtliche Tat 3 .So die						
SerNr:	32	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr: 2
Satz :	Findung gesellschaftlicher Masse für die Quantität der nützlichen Dinge.						
SerNr:	33	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr: 3
Satz :	Die Verschiedenheit der Warenmasse entspringt teils aus der verschiedenen						
SerNr:	34	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr: 4
Satz :	Natur der zu messenden Gegenstände, teils aus Konvention.						
SerNr:	35	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr: 5
Satz :	Die Nützlichkeit eines Dings macht es zum Gebrauchswert 4. Aber diese						
SerNr:	36	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr: 6
Satz :	Nützlichkeit schwebt nicht in der Luft. Durch die Eigenschaften des						
SerNr:	37	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr: 7
Satz :	Warenkörpers bedingt, existiert sie nicht ohne denselben. Der Warenkörper						
SerNr:	38	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr: 8
Satz :	selbst, wie Eisen, Weizen, Diamant usw., ist daher ein Gebrauchswert						
SerNr:	39	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr: 9
Satz :	oder Gut. Dieser sein Charakter hängt nicht davon ab, ob die Aneigung						
SerNr:	40	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:10
Satz :	seiner Gebrauchseigenschaften dem Menschen viel oder wenig						
SerNr:	41	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:11
Satz :	Arbeit kostet. Bei Betrachtung der Gebrauchswerte wird stets ihre quantitative						
SerNr:	42	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:12
Satz :	Bestimmtheit vorausgesetzt, wie Dutzend Uhren, Elle Leinwand,						
SerNr:	43	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:13
Satz :	Tonne Eisen usw. Die Gebrauchswerte der Waren liefern das Material						
SerNr:	44	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:14
Satz :	einer eignen Disziplin, der Warenkunde. 5 Der Gebrauchswert verwirklicht						
SerNr:	45	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:15
Satz :	sich nur im Gebrauch oder der Konsumtion. Gebrauchswerte bilden den						
SerNr:	46	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:16
Satz :	stofflichen Inhalt des Reichtums, welches immer seine gesellschaftliche						
SerNr:	47	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:17
Satz :	Form sei. In der von uns zu betrachtenden Gesellschaftsform bilden sie						
SerNr:	48	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:18
Satz :	zugleich die stofflichen Träger des - Tauschwertes.						
SerNr:	49	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:19
Satz :	Der Tauschwert erscheint zunächst als das quantitative Verhältnis, die						
SerNr:	50	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:20
Satz :	Proportion, worin sich Gebrauchswerte einer Art gegen Gebrauchswerte						
SerNr:	51	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:21
Satz :	anderer Art austauschen 6, ein Verhältnis, das beständig mit Zeit und Ort						
SerNr:	52	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:22
Satz :	wechselt. Der Tauschwert scheint daher etwas Zufälliges und rein Relatives						
SerNr:	53	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:23
Satz :	3 'Dinge haben einen intrinsick vertue (dies bei Barbon die spezifische Bezeichnung						
SerNr:	54	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 50	LNr:24
Satz :	für Gebrauchswert), der überall gleich ist, so wie der des Magnets, Eisen anzuziehen'						

SerNr: 55	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:25	Satz : (l.c.p.6) Die Eigenschaft des Magnets, Eisen anzuziehen, wurde erst nützlich, sobald
SerNr: 56	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:26	Satz : man vermittelt derselben die magnetische Polarität entdeckt hatte.
SerNr: 57	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:27	Satz : 4 Der natürliche wirth jedes Dinges besteht in seiner Eignung, die notwendigen
SerNr: 58	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:28	Satz : Bedürfnisse zu befriedigen oder den Annehmlichkeiten des menschlichen Lebens zu
SerNr: 59	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:29	Satz : dienen. (John Locke, Some Considerations on the Consequences of the Lowering of
SerNr: 60	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:30	Satz : Interest, in 'Works', edit. Lond. 1777, v.2, p.28.) Im 17. Jahrhundert finden
SerNr: 61	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:31	Satz : wir noch häufig bei englischen Schriftstellern 'Worth' für Gebrauchswert und 'Value'
SerNr: 62	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:32	Satz : für Tauschwert, ganz im Geist einer Sprache, die es liebt, die unmittelbare Sache keramisch
SerNr: 63	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:33	Satz : und die reflektirte Sache romanisch auszudrücken.
SerNr: 64	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:34	Satz : 5 In der bürgerlichen Gesellschaft herrscht die fictio juris, dass jeder Mensch als
SerNr: 65	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:35	Satz : Warenkäufer eine enzyklopädische Warenkenntnis besitzt.
SerNr: 66	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:36	Satz : 6 Der Wert besteht in dem Tauschverhältniß, das zwischen einem Ding und
SerNr: 67	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:37	Satz : einem andern, zwischen der Menge eines Erzeugnisses und der eines andern besteht.
SerNr: 68	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:38	Satz : (Le Trosne, 'De l'Interet Social', [in] 'Physiocrates', ed. Daire, Paris 1816,
SerNr: 69	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 50	LNr:39	Satz : p.889.)
SerNr: 70	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:1	Satz : ein der Ware innerlicher, immanenter Tauschwert (valleur intrinsèque)
SerNr: 71	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:2	Satz : also eine contradictio in adjecto. 7 Betrachten wir die Sache
SerNr: 72	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:3	Satz : näher.
SerNr: 73	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:4	Satz : Eine gewisse Ware, ein Quarter Weizen z. B. tauscht, sich mit x Stiefelwische
SerNr: 74	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:5	Satz : oder mit y Seide oder mit z Gold usw., kurz mit andern Waren in
SerNr: 75	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:6	Satz : den verschiedensten Proportionen. Mannigfache Tauschwerthe also hat der
SerNr: 76	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:7	Satz : Weizen statt eines einzigen. Aber da x Stiefelwische, ebenso y Seide, ebenso
SerNr: 77	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:8	Satz : z Gold usw. der Tauschwert von einem Quarter Weizen ist, müssen
SerNr: 78	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:9	Satz : x Stiefelwische, y Seide, z Gold usw. durch einander ersetzbar oder einander
SerNr: 79	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:10	Satz : gleich grosse Tauschwerthe sein. Es folgt daher erstens: Die Rüligen
SerNr: 80	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:11	Satz : Tauschwerthe derselben Ware drücken ein Gleiches aus, Zweitens aber:
SerNr: 81	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:12	Satz : Der Tauschwert kann überhaupt nur die Ausdrucksweise, die Erscheinungsform
SerNr: 82	AufBd:k-w-1	Abt:1	Kapt:1	Part:1	Seite: 51	LNr:13	Satz : eines von ihm unterscheidbaren Gehalts sein.



SerNr:	83	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:14
Satz :	Nehmen wir ferner zwei Waren, z. B. Weizen und Eisen. Welches immer						
SerNr:	84	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:15
Satz :	ihr Austauschverhältnis, es ist stets darstellbar in einer Gleichung, worin						
SerNr:	85	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:16
Satz :	ein gegebenes Quantum Weizen irgendeinem Quantum Eisen gleichgesetzt						
SerNr:	86	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:17
Satz :	wird, z.B. 1 Quarter Weizen a Ztr. Eisen. Was besagt diese Gleichung?						
SerNr:	87	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:18
Satz :	Dass ein Gemeinsames von derselben Grösse in zwei verschiedenen Dingen						
SerNr:	88	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:19
Satz :	existiert, in 1 Quarter Weizen und ebenfalls in a Ztr. Eisen. Beide sind also						
SerNr:	89	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:20
Satz :	gleich einem Dritten, das an und für sich weder das eine noch das andere						
SerNr:	90	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:21
Satz :	ist. Jedes der beiden, soweit es Tauschwert, muss also auf dies Dritte reduzierbar						
SerNr:	91	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:22
Satz :	sein.						
SerNr:	92	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:23
Satz :	Ein einfaches geometrisches Beispiel veranschauliche dies. Um den						
SerNr:	93	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:24
Satz :	Flächeninhalt aller gradlinigen Figuren zu bestimmen und zu vergleichen,						
SerNr:	94	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:25
Satz :	löst man sie in Dreiecke auf. Das Dreieck selbst reduziert man auf einen						
SerNr:	95	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:26
Satz :	von seiner sichtbaren Figur ganz verschieden Ausdruck das halbe Produkt						
SerNr:	96	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:27
Satz :	seiner Grundlinie mit seiner Höhe. Ebenso sind die Tauschwerte der						
SerNr:	97	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:28
Satz :	Waren zu reduzieren auf ein Gemeinsames, wovon sie ein Mehr oder Minder						
SerNr:	98	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:29
Satz :	darstellen.						
SerNr:	99	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:30
Satz :	Dies Gemeinsame kann nicht eine geometrische, physikalische, chemische						
SerNr:	100	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:31
Satz :	oder sonstige natürliche Eigenschaft der Waren sein. Ihre körperlichen						
SerNr:	101	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:32
Satz :	Eigenschaften kommen überhaupt nur in Betracht, soweit selbe sie						
SerNr:	102	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:33
Satz :	nutzbar machen, also zu Gebrauchswerten. Andererseits aber ist es grade						
SerNr:	103	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:34
Satz :	die Abstraktion von ihren Gebrauchswerten, was das Austauschverhältnis						
SerNr:	104	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:35
Satz :	7 'Nichts kann einen inneren Tauschwert haben' (N.Barbon, l.c. p.6), oder wie						
SerNr:	105	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:36
Satz :	Butler sagt:						
SerNr:	106	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:37
Satz :	'Der Wert eines Dings						
SerNr:	107	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:38
Satz :	ist grade so viel, wie es einbringen wird.'[19]						
SerNr:	108	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 1
Satz :	der Waren augenscheinlich charakterisiert. Innerhalb desselben gilt ein						
SerNr:	109	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 2
Satz :	Gebrauchswert grade so viel wie jeder andre, wenn er nur in gehöriger						
SerNr:	110	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 3
Satz :	Proportion vorhanden ist. Oder, wie der alte Barbon sagt:						

SerNr:	111	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 4
Satz :	Die eine Warensorte ist so gut wie die andre, wenn ihr Tauschwert gleich gross						
SerNr:	112	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 5
Satz :	ist. Da existiert keine Verschiedenheit oder Unterscheidbarkeit zwischen Dingen von						
SerNr:	113	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 6
Satz :	gleich grossem Tauschwert.' 8						
SerNr:	114	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 7
Satz :	Als Gebrauchswerte sind die Waren vor allem verschiedner Qualitt.						
SerNr:	115	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 8
Satz :	als Tauschwerte knnen sie nur verschiedner Quantitt sein, enthalten also						
SerNr:	116	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 9
Satz :	kein Atom Gebrauchswert.						
SerNr:	117	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:10
Satz :	Sieht man nun vom Gebrauchswert der Warenkrper ab, so bleibt						
SerNr:	118	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:11
Satz :	ihnen nur noch eine Eigenschaft, die von Arbeitsprodukten. Jedoch ist uns						
SerNr:	119	AufBd:kw-1	Abt:10-	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:12
Satz :	auch das Arbeitsprodukt bereits in der Hand verwandelt. Abstrahieren wir						
SerNr:	120	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:13
Satz :	von seinem Gebrauchswert, so abstrahieren wir auch von den krperlichen						
SerNr:	121	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:14
Satz :	Bestandteilen und Formen, die es zum Gebrauchswert machen. Es ist nicht						
SerNr:	122	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:15
Satz :	lnger Tisch oder Haus oder Garn oder sonst ein ntzlich Ding. Alle seine						
SerNr:	123	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:16
Satz :	sinnlichen Beschaffenheiten sind ausgelscht. Es ist auch nicht lnger das						
SerNr:	124	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:17
Satz :	Produkt der Tischlerarbeit oder der Bauarbeit oder der Spinnarbeit oder						
SerNr:	125	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:18
Satz :	sonst einer bestimmten produktiven Arbeit. Mit dem ntzlichen Charakter						
SerNr:	126	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:19
Satz :	der Arbeitsprodukte verschwindet der ntzliche Charakter der in ihnen						
SerNr:	127	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:20
Satz :	dargestellten Arbeiten, es verschwinden also auch die verschiedenen konkreten						
SerNr:	128	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:21
Satz :	Formen dieser Arbeiten, sie unterscheiden sich nicht lnger, sondern						
SerNr:	129	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:22
Satz :	sind allzusamt reduziert auf gleiche menschliche Arbeit, abstrakt						
SerNr:	130	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:23
Satz :	menschliche Arbeit.						
SerNr:	131	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:24
Satz :	Betrachten wir nun das Residuum der Arbeitsprodukte. Es ist nichts						
SerNr:	132	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:25
Satz :	von ihnen briggeblieben als dieselbe gespenstige Gegenstndlichkeit, eine						
SerNr:	133	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:26
Satz :	blosse Gallerte unterschiedsloser menschlicher Arbeit, d. h. der Verausgabung						
SerNr:	134	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:27
Satz :	menschlicher Arbeitskraft ohne Rcksicht auf die Form ihrer Verausgabung.						
SerNr:	135	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:28
Satz :	Diese Dinge stellen nur noch dar, dass in ihrer Produktion						
SerNr:	136	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par:10	Seite: 52	LNr:29
Satz :	menschliche Arbeitskraft verausgabt, menschliche Arbeit aufgehuft ist.						
SerNr:	137	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:30
Satz :	Als Kristalle dieser ihnen gemeinschaftlichen gesellschaftlichen Substanz						
SerNr:	138	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:31
Satz :	sind sie Werte - Warenwerte.						

SerNr:	139	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:32
Satz :	8 'One sort of wares are as good as another, if the value be equal. There is no						
SerNr:	140	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:33
Satz :	One hundred pounds worth of iron, is of as great a value as one hundred pounds worth of silver and gold.' 1*						
SerNr:	142	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:35
Satz :	(N. Barbon, l.c.p.53 u.7.)						
SerNr:	143	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:36
Satz :	1* '...Blei oder Eisen im Werte von einhundert Pfund Sterling haben gleich grossen						
SerNr:	144	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:37
Satz :	Tauschwert wie Silber und Gold im Werte von einhundert Pfund Sterling.						
SerNr:	145	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr: 1
Satz :	Im Austauschverhältnis der Waren selbst erschien uns ihr Tauschwert						
SerNr:	146	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr: 2
Satz :	als etwas von ihren Gebrauchswerten durchaus Unabhängiges, Abstrahiert						
SerNr:	147	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr: 3
Satz :	man nun wirklich vom Gebrauchswert der Arbeitsprodukte, so erhält						
SerNr:	148	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr: 4
Satz :	man ihren Wert, wie er eben bestimmt ward. Das Gemeinsame, was						
SerNr:	149	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr: 5
Satz :	sich im Austauschverhältnis oder Tauschwert der Ware darstellt, ist also						
SerNr:	150	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr: 6
Satz :	ihr Wert. Der Fortgang der Untersuchung wird uns zurückführen zum						
SerNr:	151	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr: 7
Satz :	Tauschwert als der notwendigen Ausdrucksweise oder Erscheinungsform						
SerNr:	152	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr: 8
Satz :	des Werts, welcher zunächst jedoch unabhängig von dieser Form zu betrachten						
SerNr:	153	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr: 9
Satz :	ist.						
SerNr:	154	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:10
Satz :	Ein Gebrauchswert oder Gut hat also nur einen Wert, weil abstrakt						
SerNr:	155	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:11
Satz :	menschliche Arbeit in ihm vergegenständlicht oder materialisiert ist. Wie						
SerNr:	156	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:12
Satz :	nun die Grösse seines Werts messen> Durch das Quantum der in ihm enthaltenen						
SerNr:	157	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:13
Satz :	'wertbildenden Substanz, der Arbeit. Die Quantität der Arbeit						
SerNr:	158	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:14
Satz :	selbst misst sich an ihrer Zeitdauer, und die Arbeitszeit besitzt wieder ihren						
SerNr:	159	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:15
Satz :	Massstab an bestimmten Zeiteinheiten, wie Stunde, Tag usw.						
SerNr:	160	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:16
Satz :	Es könnte scheinen, dass, wenn der Wert einer Ware durch das während						
SerNr:	161	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:17
Satz :	ihrer Produktion verausgabte Arbeitsquantum bestimmt ist, je fauler oder						
SerNr:	162	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:18
Satz :	ungeschickter ein Mann, desto wertvoller seine Ware, weil er desto mehr						
SerNr:	163	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:19
Satz :	Zeit zu ihrer Verfertigung braucht. Die Arbeit jedoch, welche die Substanz						
SerNr:	164	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:20
Satz :	der Werte bildet, ist gleiche menschliche Arbeit, Verausgabung derselben						
SerNr:	165	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:21
Satz :	menschlichen Arbeitskraft. Die gesamte Arbeitskraft der Gesellschaft, die						
SerNr:	166	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:22
Satz :	sich in den Werten der Warenwelt darstellt, gilt hier als eine und dieselbe						

SerNr:	167	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:23
Satz :	menschliche Arbeitskraft, obgleich sie aus zahllosen individuellen Arbeitskräften						
SerNr:	168	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:24
Satz :	besteht. Jede dieser individuellen Arbeitskräfte ist dieselbe menschliche						
SerNr:	169	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:25
Satz :	Arbeitskraft wie die andere, soweit sie den Charakter einer gesellschaftlichen						
SerNr:	170	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:26
Satz :	Durchschnitts-Arbeitskraft besitzt und als solche gesellschaftliche						
SerNr:	171	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:27
Satz :	Durchschnitts-Arbeitskraft wirkt, also in der Produktion einer Ware						
SerNr:	172	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:28
Satz :	auch nur die im Durchschnitt notwendige oder gesellschaftlich notwendige						
SerNr:	173	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:29
Satz :	Arbeitszeit braucht. Gesellschaftlich notwendige Arbeitszeit ist Arbeitszeit						
SerNr:	174	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:30
Satz :	, erheischt, um irgendeinen Gebrauchswert mit den vorhandenen gesellschaftlich-normaler						
SerNr:	175	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:31
Satz :	Produktionsbedingungen und dem gesellschaftlichen						
SerNr:	176	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:32
Satz :	Durchschnittsgrad von Geschick und Intensität der Arbeit darzustellen.						
SerNr:	177	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:33
Satz :	Nach der Einführung des Dampfwebstuhls in England z.B. genügte vielleicht						
SerNr:	178	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:34
Satz :	halb so viel Arbeit als vorher, um ein gegebenes Quantum Garn in						
SerNr:	179	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:35
Satz :	Gewebe zu verwandeln. Der englische Handwerker brauchte zu dieser Verwandlung						
SerNr:	180	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:36
Satz :	in der Tat nach wie vor dieselbe Arbeitszeit, aber das Produkt						
SerNr:	181	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:37
Satz :	seiner individuellen Arbeitsstunde stellte jetzt nur noch eine halbe gesellschaftliche						
SerNr:	182	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:38
Satz :	Arbeitsstunde dar und fiel daher auf die Hälfte seines frühern						
SerNr:	183	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:39
Satz :	Werts.						
SerNr:	184	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr: 1
Satz :	Es ist also nur das Quantum gesellschaftlich notwendiger Arbeit oder						
SerNr:	185	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite:.. 54	LNr: 2
Satz :	die zur Herstellung eines Gebrauchswerts gesellschaftlich notwendige						
SerNr:	186	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr: 3
Satz :	Arbeitszeit, welche seine Wertgrösse bestimmt. 9 Die einzelne Ware gilt						
SerNr:	187	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr: 4
Satz :	hier überhaupt als Durchschnittsexemplar ihrer Art. 10 Waren, worin gleich						
SerNr:	188	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr: 5
Satz :	grosse Arbeitsquanta enthalten sind oder die in derselben Arbeitszeit hergestellt						
SerNr:	189	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr: 6
Satz :	werden können, haben daher dieselbe Wertgrösse. Der Wert einer						
SerNr:	190	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr: 7
Satz :	Ware verhält sich zum Wert jeder andren Ware wie die zur Produktion						
SerNr:	191	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr: 8
Satz :	der einen notwendige Arbeitszeit zu der für die Produktion der andren						
SerNr:	192	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr: 9
Satz :	notwendigen Arbeitszeit. 'Als Werte sind alle Waren nur bestimmte Masse						
SerNr:	193	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:10
Satz :	festgeronnener Arbeitszeit.' 11						
SerNr:	194	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:11
Satz :	Die Wertgrösse einer Ware bliebe daher konstant, wäre die zu ihrer						

Sernr: 195	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:12	Satz: Produktion erzielte Arbeitszeit konstant. Letztere wechselt aber mit
Sernr: 196	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:13	Satz: jedem Wechsel in der Produktivkraft der Arbeit. Die Produktivkraft der
Sernr: 197	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:14	Satz: Arbeit ist durch mannigfache Umstände bestimmt, unter anderen durch
Sernr: 198	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:15	Satz: den Durchschnittsgrad des Geschickes der Arbeiter, die Entwicklungslufe
Sernr: 199	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:16	Satz: der Wissenschaft und ihrer technologischen Anwendbarkeit, die gesellschaftliche
Sernr: 200	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:17	Satz: Kombination des Produktionsprozesses, den Umfang und die
Sernr: 201	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:18	Satz: Wirkungsfähigkeit der Produktionsmittel, und durch Naturverhältnisse,
Sernr: 202	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:19	Satz: Dasselbe Quantum Arbeit stellt sich z.B. mit günstiger Jahreszeit in
Sernr: 203	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:20	Satz: 8 Bushel Weizen dar, mit ungünstiger in nur 4. Dasselbe Quantum Arbeit
Sernr: 204	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:21	Satz: liefert mehr Metalle in reichhaltigen als in armen Minen usw. Diamanten
Sernr: 205	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:22	Satz: kommen selten in der Erde vor, und ihre Findung kostet daher im
Sernr: 206	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:23	Satz: Durchschnitt viel Arbeitszeit. Folglich stellen sie in wenig Volumen viel
Sernr: 207	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:24	Satz: Arbeit dar. Jacob bezweifelt, dass Gold jemals seinen vollen Wert bezahlt
Sernr: 208	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:25	Satz: 9 Note zur 2. Ausg. 'The value of them (the necessaries of life) when they are exchanged
Sernr: 209	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:26	Satz: the one for another, is regulated by the quantity of labour necessarily required,
Sernr: 210	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:27	Satz: and commonly taken in producing them. 'Der Wert von Gebrauchsgegenständen,
Sernr: 211	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:28	Satz: sobald sie gegeneinander ausgetauscht werden, ist bestimmt durch das Quantum der
Sernr: 212	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:29	Satz: zu ihrer Produktion notwendig erheischen und gewöhnlich angewandten Arbeit.'
Sernr: 213	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:30	Satz: ('Some Thoughts on the Interest of Money in general, and particularly in the Public
Sernr: 214	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:31	Satz: Funds etc., London, p.36, 37.) Diese merkwürdige anonyme Schrift des vorigen Jahrhunderts
Sernr: 215	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:32	Satz: trägt kein Datum. Es geht jedoch aus ihrem Inhalt hervor, dass sie unter
Sernr: 216	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:33	Satz: Georg 2., etwa 1739 oder 1740, erschienen ist.
Sernr: 217	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:34	Satz: 10 'Alle Erzeugnisse der gleichen Art bilden eigentlich nur eine Masse, deren
Sernr: 218	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:35	Satz: Preis allgemein und ohne Rücksicht auf die besonderen Umstände bestimmt wird.'
Sernr: 219	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:36	Satz: (Le Trogne, l.c. p.893.)
Sernr: 220	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:37	Satz: 11 K.Marx, l.c. p.6. 1*
Sernr: 221	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr:38	Satz: * Siehe Band 13 unserer Ausgabe, S.18
Sernr: 222	Aufbd:k-w-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr: 1	Satz: hat. [20] Noch mehr gilt dies vom Diamant, Nach Eschwege hatte 1823 die

SerNr:	223	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr: 2
Satz :	achtzigjährige Gesamtausbeute der brasilischen Diamantgruben noch nicht						
SerNr:	224	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr: 3
Satz :	den Preis des l 1/2 jährigen Durchschnittsprodukts der brasilischen Zucker-						
SerNr:	225	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr: 4
Satz :	oder Kaffeepflanzungen erreicht, obgleich sie viel mehr Arbeit darstellte,						
SerNr:	226	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr: 5
Satz :	also mehr Wert. Mit reichhaltigeren Gruben würde dasselbe Arbeitsquantum						
SerNr:	227	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr: 6
Satz :	sich in mehr Diamanten darstellen und ihr Wert sinken. Gelingt						
SerNr:	228	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr: 7
Satz :	es, mit wenig Arbeit Kohle in Diamant zu verwandeln, so kann sein Wert						
SerNr:	229	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr: 8
Satz :	unter den von Ziegelsteinen fallen. Allgemein: Je grösser die Produktivkraft						
SerNr:	230	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr: 9
Satz :	der Arbeit, desto kleiner die zur Herstellung eines Artikels erheischte						
SerNr:	231	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:10
Satz :	Arbeitszeit, desto kleiner die in ihm kristallisierte Arbeitsmasse, desto kleiner						
SerNr:	232	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:11
Satz :	sein Wert. Umgekehrt, je kleiner die Produktivkraft der Arbeit, desto						
SerNr:	233	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:12
Satz :	grösser die zur Herstellung eines Artikels notwendige Arbeitszeit,desto						
SerNr:	234	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:13
Satz :	grösser sein Wert. Die Wertgrösse einer Ware wechselt also direkt wie das						
SerNr:	235	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:14
Satz :	Quantum und umgekehrt wie die Produktivkraft der sich in ihr verwirklichenden						
SerNr:	236	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:15
Satz :	Arbeit. l*						
SerNr:	237	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:16
Satz :	Ein Ding kann Gebrauchswert sein, ohne Wert zu sein. Es ist dies der						
SerNr:	238	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:17
Satz :	Fall, wenn sein Nutzen für den Menschen nicht durch Arbeit vermittelt ist.						
SerNr:	239	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:18
Satz :	So Luft, jungfräulicher Boden, natürliche Wiesen, wildwachsendes Holz						
SerNr:	240	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:19
Satz :	usw. Ein Ding kann nützlich und Produkt menschlicher Arbeit sein, ohne						
SerNr:	241	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:20
Satz :	Ware zu sein. Wer durch sein Produkt sein eigenes Bedürfnis befriedigt,						
SerNr:	242	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:21
Satz :	schafft zwar Gebrauchswert, aber nicht Ware. Um Ware zu produzieren,						
SerNr:	243	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:22
Satz :	muss er nicht nur Gebrauchswert produzieren, sondern Gebrauchswert für						
SerNr:	244	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:23
Satz :	andre, gesellschaftlichen Gebrauchswert. (Und nicht nur für andre schlechthin.						
SerNr:	245	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:24
Satz :	Der mittelalterliche Bauer produzierte, das Zinskorn für den Feudalherrn						
SerNr:	246	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:25
Satz :	das Zehntkorn für den Pfaffen. Aber weder Zinskorn noch Zehntkorn						
SerNr:	247	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:26
Satz :	wurden dadurch Ware, dass sie für andre produziert waren. Um Ware zu						
SerNr:	248	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:27
Satz :	werden, muss das Produkt dem andern, dem es als Gebrauchswert dient,						
SerNr:	249	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:28
Satz :	durch den Austausch (übertragen werden.) llla Endlich kann kein Ding Wert						
SerNr:	250	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:29
Satz :	sein, ohne Gebrauchsgegenstand zu sein. Ist es nutzlos, so ist auch die in						

SerNr:	251	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:30
Satz :	ihm enthaltene Arbeit nutzlos, zählt nicht als Arbeit und bildet daher keinen						
SerNr:	252	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:31
Satz :	Wert.						
SerNr:	253	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:32
Satz :	11a Note zur 4.Aufl.- Ich schiebe das Eingeclammerte ein, weil durch dessen Weglassung						
SerNr:	254	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:33
Satz :	sehr häufig das Missverständnis entstanden, jedes Produkt, das von einem						
SerNr:	255	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:34
Satz :	ändern als dem Produzenten konsumiert wird, gelte bei Marx als Ware,- F.E.						
SerNr:	256	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:35
Satz :	1* Auflage folgt: Wir kennen jetzt die Substanz des Werts. Es ist die Arbeit. Wir kennen						
SerNr:	257	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:36
Satz :	sein Grossenmass. Es ist die Arbeitszeit. Seine Form, die den Wert eben zum Tausch-Wert						
SerNr:	258	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:37
Satz :	stempelt, bleibt zu analysieren. Vorher jedoch sind die bereits gefundenen Bestimmungen						
SerNr:	259	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 55	LNr:38
Satz :	etwas näher zu entwickeln.						

[ 2 ]

<< Das Kapital, Bd.1, Database >>

SerNr:	102	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:33
Satz :	nutzbar machen, also zu Gebrauchswerten. Andererseits aber ist es grade						
SerNr:	103	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 51	LNr:34
Satz :	die Abstraktion von ihren Gebrauchswerten, was das Austauschverhältnis						
SerNr:	109	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 2
Satz :	Gebrauchswert grade so viel wie jeder andre, wenn er nur in gehöriger						
SerNr:	114	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 7
Satz :	Als Gebrauchswerte sind die Waren vor allem verschiedner Qualität.						
SerNr:	116	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr: 9
Satz :	kein Atom Gebrauchswert.						
SerNr:	117	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:10
Satz :	Sieht man nun vom Gebrauchswert der Warenkörper ab, so bleibt						
SerNr:	120	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:13
Satz :	von seinem Gebrauchswert, so abstrahieren wir auch von den körperlichen						
SerNr:	121	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 52	LNr:14
Satz :	Bestandteilen und Formen, die es zum Gebrauchswert machen. Es ist nicht						
SerNr:	146	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr: 2
Satz :	als etwas von ihren Gebrauchswerten durchaus Unabhängiges. Abstrahiert						
SerNr:	147	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr: 3
Satz :	man nun wirklich vom Gebrauchswert der Arbeitsprodukte, so erhält						
SerNr:	154	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:10
Satz :	Ein Gebrauchswert oder Gut hat also nur einen Wert, weil abstrakt						
SerNr:	174	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 53	LNr:30
Satz :	, erheischt, um irgendeinen Gebrauchswert mit den vorhandenen gesellschaftlich-normalen						
SerNr:	185	AufBd:kw-1	Abt:1	Kapt: 1	Par: 1	Seite: 54	LNr: 2
Satz :	die zur Herstellung eines Gebrauchswerts gesellschaftlich notwendige						

[ 表 3 ] .

LIST TABLES k1-1

Table: k1-1                    No lock(s)  
Read Password: No  
Modify Password: No

Column definitions

#	Name	Type	Length	Key	Expression
1	SerNr	INTEGER			
2	AufBd	TEXT	4 characters		
3	Abt	TEXT	4 characters		
4	Kapt	INTEGER			
5	Par	INTEGER			
6	Seite	INTEGER			
7	LNr	INTEGER			
8	Satz	TEXT	100 characters		

Current number of rows: 259